

『週刊金曜日』シンポジウム
「従軍慰安婦」問題を考える
～事実をもって歴史歪曲主義者の“ウソ”を暴く～

『朝日新聞』の検証記事をきっかけに、安倍政権は「従軍慰安婦」の強制性どころか、その存在すら消し去ろうとしているようにみえます。一部の新聞や雑誌も、ここぞとばかりに歴史歪曲に走っています。しかし、史実は変えようがありません。

このシンポジウムでは、さまざまな証拠をもとに「従軍慰安婦」問題の本質を明らかにします。これらの「事実」「真実」こそが、私たち市民の“武器”です。

日時 2014年11月13日(木) 午後6時半～8時半 (開場午後6時)
場所 文京区民センター2A会議室 (文京区本郷4-15-14 TEL03-3814-6731)
最寄り駅は、都営三田線、大江戸線「春日駅」か、南北線、丸の内線「後楽園駅」
資料代 500円

講演者

▼金富子さん(大学教員)

『朝日新聞』等の吉田証言報道がなくても1990年代に「慰安婦」問題は始まっています。「慰安婦」の実態＝性奴隷は、国際社会の常識になりました。なぜか。女性の人権と脱植民地主義から考えます。

▼西野瑠美子さん(「戦争と女性への暴力」リサーチ・アクションセンター共同代表)

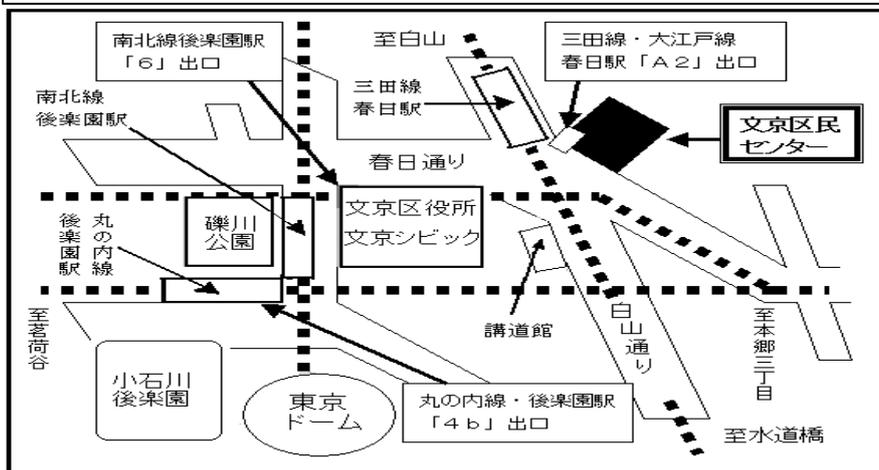
『朝日新聞』が「虚偽」とした吉田清治証言をどうみるか? 『朝日新聞』検証を元に、朝鮮半島と国内の徴集を比較例示し、河野談話と教科書への攻撃を批判します。

▼能川元一さん(非常勤講師)

「従軍慰安婦」に関する資料は次々と発見されています。それらの資料をもとに、具体的にかつわかりやすく「従軍慰安婦」問題を解説します。新聞や週刊誌のデマゴギーも事例に則して暴きます。

▼梁澄子さん(韓国語通訳・翻訳)

あまりにも真の歴史を無視した報道姿勢が問われる『産経新聞』。そのとんでもぶりを徹底批判し、右派メディアのいい加減な実態をあぶりだします。



連絡先

『週刊金曜日』業務部
TEL 03-3221-8521 担当 原田
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-23
アSEND神保町3階